



コロナ予防のメッセージ込め

アマビエ号で感染拡大防止

萬運輸

【神奈川】萬運輸

(東海林憲彦社長、横浜市鶴見区)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の願いを込めて、妖怪「アマビエ」のイラストをデザインしたトラック「アマビエ号」を製作した。

アマビエは、豊作や疫病の予言をするといわれる妖怪。海中から現れ「病がはやったら私の写し絵を人々に見せよ」と告げて海に戻った

と言いつけられる。

新型コロナウイルスの感染拡大に対し、SNS上では「#アマビエ」「#アマビエチャレンジ」などのハッシュタグとともに多くのイラストレーターや作家がアマビエの絵を投稿している。厚生労働省も啓発アイコンに採用するなど広がりを見せている。

アマビエ号は、豊作や疫病の予言をするといわれる妖怪。海中から現れ「病がはやったら私の写し絵を人々に見せよ」と告げて海に戻った

トを採用し、SNS

上で話題となった。同社は、運送業界におけるアマビエチャレンジの考えに賛同。その輪を広げていく考えから、アマビエ号が誕生した。

アマビエ号は片面にイラストを込めて「東京モノノケ」さんのイラストを採用。もう片面は、東海林社長が選んだデザイン「NAGA」さんのアマビエイラストが飾る。

拡めちゃうから。S

TOP感染拡大」のメッセージが添えられる。同社のグループ会社が提供するトラック用ボディプリントサービス「デザイントラック」の技術により製作された。同社長は「感染拡大予防を周知するためにデザイントラックが役に立ってほしい」と話す。

また、厚生労働省の啓発メッセージ「知らないうちに、(田川侑史)